

第2回レポート課題

演習問題 1 ~ 6 から 2 題以上選んで解答する.

演習問題 1. データ $Y_i, i = 1, \dots, n$ は

$$Y_i = \phi(x_i)^T \theta + \varepsilon_i, i = 1, \dots, n, \quad \varepsilon_1, \dots, \varepsilon_n \sim_{i.i.d.} N(0, \sigma^2)$$

で定まる分布にしたがうとする. ここで, 入力 x_1, \dots, x_n は定数,
また $\phi(x), \theta \in \mathbb{R}^d$ とする. $n \times d$ 行列 Φ を

$$\Phi = (\phi(x_1), \dots, \phi(x_n))^T$$

とし, Φ のランクは d とする. パラメータ θ の最小 2 乗推定量を $\hat{\theta}$ とする. ここで, 点 x における関数値を $\hat{Y}(x) = \phi(x)^T \hat{\theta}$ で予測するとき, $\hat{Y}(x)$ の分散を求めよ.

注: データの Y_i が確率変数なので $\hat{\theta}$ も確率変数となる. $\hat{\theta}$ の分散共分散行列から $\hat{Y}(x)$ の分散が計算できる.

演習問題 2. 線形独立なベクトル $a_1, \dots, a_d \in \mathbb{R}^n$ に対して $n \times d$ 行列を $\Phi = (a_1, \dots, a_d)$ と定める. n 次正方行列 Π を $\Pi = \Phi(\Phi^T\Phi)^{-1}\Phi^T$ とする.

1. $\text{trace}(\Pi)$ を求めよ.
2. $x \in \text{span}\{a_1, \dots, a_d\}$ のとき $\Pi x = x$ となることを示せ.
3. $x \in \mathbb{R}^n$ に対して Πx と $(I - \Pi)x$ は直交することを示せ.
4. Π の固有値と重複度 (固有空間の次元) を求めよ.

演習問題 3. \mathcal{H} を **RKHS** とし, $k(x, x')$ をカーネル関数とする.

データ $(x_1, y_1), \dots, (x_n, y_n)$ に対して関数 $f \in \mathcal{H}$ を以下のようにフィッティングする.

$$\min_{f \in \mathcal{H}} \sum_{i=1}^n (y_i - f(x_i))^2 + \lambda \|f\|_{\mathcal{H}}^2$$

上式の解を求めよ. ただし $\|f\|_{\mathcal{H}}$ は f の **RKHS** ノルム, $\lambda > 0$ とする. ベクトルや行列を適当に定義して, 解を簡潔に表すこと.

演習問題 4. 正定値カーネル $k(x, x')$ から定義される RKHS を $(\mathcal{H}, \langle \cdot, \cdot \rangle)$ とし、積から定まるノルムを $\|\cdot\|$ とする。点 x_1, \dots, x_n に対して

$$\min_{f \in \mathcal{H}} \sum_{i=1}^n \|f - k(x_i, \cdot)\|^2$$

の最適解を求めよ。

演習問題 5. $x, t \geq 0$ に対して定義される実数値関数 $f(x, t)$ に対して、次の積分値が定まるとする。

$$k(x, y) = \int_0^\infty f(x, t)f(y, t)dt.$$

1. $k(x, y)$ は正定値カーネルであることを示せ。
2. $x, y \geq 0$ に対して $\min\{x, y\}$ は正定値カーネルであることを示せ。

演習問題 6. データ $(x_1, y_1), \dots, (x_n, y_n) \in \mathbb{R} \times \mathbb{R}$ に対して線形モデル $y_i = \theta_0 + \theta_1 x_i + \varepsilon_i$ をあてはめるとき, 最小2乗推定量を $\hat{\theta}_0, \hat{\theta}_1$ とする.

一方, $a, b \in \mathbb{R}$ を定数として, データ $(\tilde{x}_i, \tilde{y}_i) = (x_i + a, y_i + b), i = 1, \dots, n$ に対して線形モデル $\tilde{y}_i = \tilde{\theta}_0 + \tilde{\theta}_1 \tilde{x}_i + \tilde{\varepsilon}_i$ をあてはめるとき, 最小2乗推定量を $\tilde{\theta}_0, \tilde{\theta}_1$ とする.

$(\hat{\theta}_0, \hat{\theta}_1)$ と $(\tilde{\theta}_0, \tilde{\theta}_1)$ の関係について調べよ.